

## 友好都市に至る主な経緯

H19年

4月 うるま市出身の「比嘉愛未さん」主演のNHK連続テレビ小説「どんと晴れ」が放映される。

H20年

1月 谷藤盛岡市長が、うるま市を行政視察うるま市と意見交換会を実施する。

3月 「盛岡・うるま友好の翼」一行が、谷藤盛岡市長を団長にうるま市を訪れ、うるま市エイサー祭りにさんさ踊りを披露し、うるま市、市議会議員、商工会関係者との交流会を実施する。

H21年

4月 盛岡市政120周年記念事業において、うるま市の「肝高の阿麻和利」が盛岡市において公演される。

10月 盛岡市において、「うるま市観光物産フェア」が開催される。

11月 うるま市において「第1回いわて・盛岡IN沖縄」が開催される。

H22年

4月・9月 両市のマラソン大会へ市民ランナー優勝者を相互に派遣する。

H23年

4月 東日本大震災支援のため、うるま市、商工会、観光物産協会が協力して支援物資を送る。

H24年

3月 盛岡市・うるま市「災害時における相互応援に関する協定」を締結

7月 盛岡市・うるま市の間で「友好都市」盟約書への調印式が行われる。

8月・10月 盛岡市さんさ踊り、うるま祭りにおいて、友好都市記念事業が行われる。



【じゃじゃ麺】

一口大の小分けにしたそばを、薬味とともにたっぷりと味わう「わんこそば」。15杯前後で通常のもりそば1杯分だそう  
で、盛岡を訪れた際は、是非ご賞味ください。(因みに筆者のわんこそばの記録は、67杯でした。)

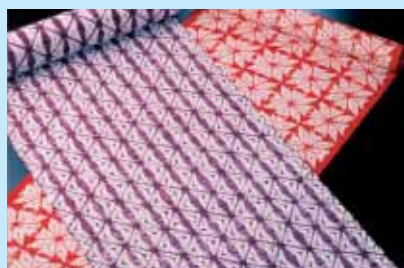
【わんこそば】

好みで生姜、ニンニク、ラー油を加え食す「じゃじゃ麺」、給仕さんとの掛け合いを楽しみながら

【盛岡冷麺】

## 盛岡三大麺

盛岡三大麺と言え、



【南部しぼり紫根染・茜染】



【南部せんべい】



【南部鉄器】

特産品としては世界が注目する伝統工芸品「南部鉄器」や全国的にも有名な「南部せんべい」、清らかな水とお米のおいしさを原料に生み出された極上の日本酒等があります。また、紫根染めや南部古代理染は、藩政時代からの伝統美を誇る華麗な染物です。洗練された美しさと気品が香り、マフラーやネクタイ、財布など種類も豊富となっています。



【盛岡市の地酒】



【比嘉 愛未 (うるま市・盛岡市友好大使)】



【記念碑の除幕式にて】